



2020年3月30日

各 位

上場会社名 神姫バス株式会社
 代表者 代表取締役社長 長尾 真
 (コード番号 9083)
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 小林 健一
 (TEL 079-223-1247)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の市場環境及び業績動向等を踏まえ、2019年11月11日に公表した2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想につきまして、下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,300	2,590	2,780	1,840	305.53
今回修正予想(B)	44,900	1,920	2,140	1,040	172.69
増減額(B-A)	△1,400	△670	△640	△800	
増減率(%)	△3.0	△25.9	△23.0	△43.5	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	45,889	2,326	2,567	1,749	290.55

修正の理由

暖冬によりスキーツアー等季節商品の売上高が減少した上に、2月に入り新型コロナウイルス感染症による影響が大幅に拡大しております。

自動車運送業においては、訪日外国人の減少による関西空港リムジン線の利用減に加え、政府からの大規模イベントの自粛要請や休校要請等により、一般バス、高速バスともに輸送人員の大幅な減少が続き、下期売上高は前回予想と比較して4.3%の減収を見込んでおります。旅行貸切業では、旅行部門におけるインバウンド需要の消失やツアーおよび団体旅行のキャンセル、貸切バス部門における稼働減により、下期売上高は前回予想と比較して20.5%の減収を見込んでおります。またレジャーサービス業も飲食部門における来店客数減により、下期売上高は前回予想と比較して2.8%の減収を見込んでおります。

以上により、営業利益では自動車運送業で217百万円、旅行貸切業で319百万円、レジャーサービス業で40百万円の減益を見込んでおります。

この結果、通期の連結売上高、営業利益、経常利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記要因に加え、固定資産の減損損失等の特別損失計上を見込み、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上